Vol.91 Spring 2021

A Tiny Ripple

Kansai University Division of International Affairs NEWS

☆智学生インタビュー☆ 社会安全学部 1回生

在芸女主子部 1四3 王辰越 さん

☆園院部☆

Mi-Roomを活用しよう!

☆智学体験記☆

世界に羽ばたく開大生!

☆別科便り☆

短期語学研修コース(オンライン開講)



春が、来た。

Entrepreneurship Mindset Program (Multilateral COIL course) 2020

Do you need more information?

Follow me!!!!

















昨年度の「留学生日本語スピーチコンテスト」で見事、金賞を受賞された王さんに、今年度のスピーチコンテスト開催にあたり、改めてインタビューを行いました。今回は、今年度のスピーチコンテストで『過去の出場者インタビュー』としてご覧いただいた動画を特別公開します!より詳しいインタビューはぜひ、以下URLよりご覧ください。

▶ What's New ∢ https://www.kansai-u.ac.jp/Kokusai/

Q1 ご出身はどちらですか? 中国の江蘇省です。

Q2 日本に興味をもったきっかけは?

母が日本の高槻市との友好交流の活動に参加していたので、その影響で日本の文化に深く興味を持つようになりました。両親と日本へ旅行に来た時、日本の魅力をすごく感じて日本語を学びたいと思い、日本への留学を決めました。

Q3 日本語の勉強で大変なことは?

約6年ほど日本語を勉強してきましたが、動詞の変型を覚え、使いこなすのが難しく、大変でした。だけど、日本の文化を深く理解するためには、日本語を勉強することがとても重要だと思います。

Q4 関西大学での留学生活はいかがですか?

とても充実しています。大学の食堂も安くて美味しいのでとても気に入っています。春学期はオンライン授業になったので、先生やクラスメートと直接会える機会も少なく残念でしたが、授業に合わせて自分の予定を計画できるので自律的に勉強することができるようになりました。

Q5 今後の目標や将来の夢を教えてください。

大学卒業後は、大学院に進学したいと思っています。そして、安全関連の仕事に就いて経験を積み、将来的には、豊富な社会安全の専門知識を持った教養ある専門家として、人材の育成を行いたいと考えています。

『留学生スピーチコンテスト』とは・・・?

大阪市立大学・大阪府立大学・関西大学の三大学は、大阪都市圏に立地する大学として、より活発な相互交流を推進し、幅広く連携を強化していくため2008年に包括連携協定を締結。その連携事業の一つとして、「三大学留学生日本語スピーチコンテスト」を開催。今年度で4回目の開催となりました。



オウシンエツ 社会安全学部1回生 王辰越 さん

Mi-Roomを活用しよう!

Mi-Roomの情報はFacebookでチェック! ⇒



Mi-Roomとは・・・?

千里山キャンパスにあるMi-Room (Multilingual Immersion Room、エムアイルーム)は、異文化コミュニケーションを実体験し、留学を視野に入れた外国語で活動する機会をキャンパスライフに取り込むことができる空間です。ここでは、担当教員のコーディネートのもと、本学で学ぶ世界各国からの外国人留学生等がGlobal Teaching Assistant (GTA)として、英語をはじめさまざまな外国語学習や異文化交流のプログラムを行っています。年間利用者は1万人を超え、キャンパスライフに欠かせない場所の一つです。

秋学期のMi-Room Program

感染拡大防止対策を講じた上で対面型セッションを行い、Zoomを利用したオンライン型や対面・オンライン併用のハイブリッド型セッションを実施しました。

Mi-Room Online Session

従来のMi-Roomでも人気の高い「English Discussion」や「Multi-Language Sessions」、新企画の「CNN English」を実施しました。参加した学生からは、「語学力が上がったように感じる。」「オンラインのセッションは、参加しやすかった。」「もう一度留学に行きたいという気持ちが出てきた」等の感想が寄せられました。

「English Discussion」では、各種ナーマについてディスカッションしました (実施ナーマより一部抜粋)

- ·Working in Foreign Countries
- · Globalization and Our Lives
- ·English Education in Japan



2021年度春学期のMi-Room

春学期は感染拡大防止のため利用者制限をしながら開室する予定です。開室時間やセッション等の実施については、決まり次第Facebook等でお知らせします。 気軽に参加してください。



▲▼2020年秋学期のセッションの様子



世界をみよう。世界からみよう!

世界にはばたく関大生



まえはら れいみ 文学部 4年 前原伶美 さん

プログラム: マンツーマン英語集中研修

(フィリピン・マニラ)

期 間: 2月1日~19日(3週間)



新型コロナウイルスの影響で卒業旅行にも行けなくなったため、大学生活最後の長期休暇を自己投資に使おうと思い、オンライン留学への参加を決めました。私は短期留学を2度経験していましたが、自身の英語力、特にスピーキング力には自信が無かったため、マンツーマン授業で集中的にスピーキング力を伸ばせるこのプログラムは魅力的でした。

毎日3時間ずつ行われる授業の中では、英語の発音トレーニングや会話練習を行いました。その中で印象的だったのは、会話練習の質問です。"What is friendship to you?"や"What is your concept of beauty?"のように、抽象的な言葉を自分なりに定義し説明させる質問が多く、度々返答に悩みました。他の質問も自分の意見や考えを求められるものばかりで、スピーキングカに加えて、「正解」ではなく「自分の意見」を持つ力も鍛えられたと思います。

3週間という短い期間でしたが、終盤には頭の中での思考も自然と英語になっており、英語での会話に対する不安や怖さもほぼなくなりました。なにより、外国語でコミュニケーションを取ることの楽しさに改めて気づけたのは大きな収穫だったと思います。大学卒業後も、学ぶ楽しさを忘れず様々なことにチャレンジしていきたいです。



留学・国際交流情報サイト [Global Navi]

← 海外留学、学内留学、オンライン留学、国際交流情報、奨学金情報など、 関大のグローバルコンテンツの全てがココに!

別科便り

技術語学研修士に入るアンラインで開設しました

2021年1月25日から2月5日までの12日間、日本語・日本文化教育プログラム短期語学研修コースが、初めてオンラインで開講され、韓国と中国の大学から33名の学生が参加しました。

特に、関大生が授業に入り日本語のサポートを行う会話パートナーが好評でした。コース終了後に実施したアンケートでも、「関大生との交流の時間をもっと長くとって欲しかった。」との意見も多く、オンラインとはいえ、リアルタイムで同世代の関大生と直接、会話できることが何よりも楽しかったようです。

バーチャルフィールドワークでは、坐禅と組紐について学びました。大徳寺の住職による講話の後の坐禅体験では、「心と体が軽くなった」「心が安らかになった」という声もありました。次に、組紐の伝統工芸職人により、その歴史と作り方について学びました。職人さんの丁寧で細かな指導により、事前にお渡ししていた組紐で、日本らしい「和」のストラップを作ることができました。



▲組紐作りのようす。 みんな真剣な表情!

成果発表会では、緊張しながらもとても流暢な日本語で、この期間に学んだ日本のことを一人ずつ発表しました。「もっと交流したかった!」「日本で学びたい!」と名残を惜しみつつ、コースは終了しました。



▶伝統工芸の職人さ んのレクチャーのもと、 こんなに素敵な組紐 のストラップができました!

◆ 坐禅体験のようす。意識をぐっと集中させます。



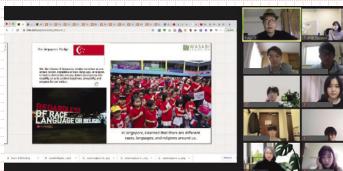
オンラインで世界の学生とともに学ぶ、単位認定型短期プログラム

Entrepreneurship Mindset Program (Multilateral COIL course) 2020

留学の魅力は語学力向上だけでなく、現地学生との交流です。その魅力を日本にいながら得られるチャンスがCOIL(海外とのオンライン協働学習)です。関西大学グローバル教育イノベーション機構(IIGE)は、このCOILを用いて、起業家マインドやグローバルビジネスについて学ぶプロジェクト型学習プログラムを実施しました。参加者達は、英語を共通言語として、具体的な事業展開の方法やSDGs(持続可能な開発目標)をテーマに、グループディスカッションや最先端ICTツールを使用したプレゼンテーションに挑戦しました。

プログラムの特徴

- 「英語を学ぶ」のではなく「英語でグローバルビジネス について考え学べる」プログラム
- 2. ジェームズマディソン大学(米国)、ナンヤンポリテクニック(シンガポール)からも講師を迎え、グローバルスタン ダードなビジネスのノウハウも学ぶことができる
- 3. 海外学生達と共に意見交換を交えながら、グローバル 人材として必要な能力や起業家マインドを養うことができる



▲自宅から世界に繋がった授業の様子!

4. 最先端ソフトウェアを使用してのプレゼンテーションは、事前にソフトウェアオリエンテーションを実施し、参加者が確実にICTスキルを習得できるようにプログラム構成されている

今後のCOIL型教育プログラムは国際部のLINEにてお知らせします! ▶ ▶ ▶ ▶

参加者体験談

共 催: Wasabi Creation (コンサルティング会社、シンガポール)

ジェームズマディソン大学(米国) クレムソン大学(米国)

ナンヤンポリテクニック(シンガポール)

参加期間: 事前研修 2021/1/15~1/27

プログラム 2021/1/28~2/10 事後研修 2021/2/11~2/13

僕は、アウトプットの機会が欲しかったことと、起業やビジネスについて実践的に学びたかったため、今回このプログラムに参加しました。プログラムに参加したうえでの率直な感想は「内容が素晴らしい」でした。

二週間という短い期間で、英語でのディスカッションを基盤に自分たちで一からビジネスプランを考えられたことは、かつてない刺激的な体験でした。

また、それだけのみならず、他大学の教授の講義や現地学生との交流の時間も設けられていました。その中で自分の意見を文化や考え方が異なる人たちと共有し、また相手のことを理解することは、とても楽しかったです。英語を学ぶ目的をまたひとつ得られたことも大きな収穫だと感じています。



商学部 2年

ぶじわら こたろう 藤原 瑚太良 さん



僕からは、今回の体験を踏まえて、このプログラムに参加するメリットと注意すべき事の2点を紹介したいと思います。

まず大きなメリットは、現役の起業家の方から企業精神や起業プロセスを直接学べる点です。特に起業プロセスは、参加者が1週間かけて疑似体験をするので、起業時にするべきことが明確になります。

次に注意すべき事は、一から十まですべて英語でやりとりをするということです。「やりとり」なので、責任者の言っている内容を英語で理解するだけでなく、自分の意見や質問も英語で伝える必要があります。そのため、一定の英語力が必要なことは大前提で、日本人流の「言葉にしなくても伝わる」という態度は通じません。しかしながら、言葉や文化の壁こそありますが、参加すれば収穫はとても大きいと思います。

このプログラムが気になっている人は、ぜひ勇気を出して、積極的にプログラムに参加してください。

外国語学部 4年

ながの はやと

永野 駿斗 さん